≪総務部門≫

平成２３年度は第２次地域福祉活動計画の実行に向け、組織強化を図るべく職員の行動マニュアルを作成し実践してまいりました。また、社協の役割の実現に向けての職員研修なども行い、資質の向上にも力を入れてきました。市民の皆様に社協をより一層身近に感じていただくために、甲斐犬をモチーフとしたマスコットキャラクターを公募した結果、南アルプス市社会福祉協議会のマスコットにふさわしい「しゃきょん」が誕生いたしました。今後、各イベント等で PR に活用して活気ある社会福祉協議会を築いていきます。

１　会務の運営

①会議の開催

名　　称	内　　容	開催回数・日時
正副会長会議	理事会、評議員会に向けて他	６回
理事会・評議員会	第１回　平成２３年度予算・事業計画 第２回　平成２２年度事業報告　一般会計決算 各地区６回　理事評議員懇談会	３月１９日 ５月２５日 ９月　９日（芦安）１２日（甲西） １３日（櫛形）１４日（八田） １５日（若草）１６日（白根）
監事会	定期監査	５月１９日
庁内会議	会長、局長、次長、課長、施設長、所長代理による全体会議	２２回
リーダー会議	課長、係長、所長代理打ち合わせ	１２回
チーム担当者会議	研修チーム会議	６回

②役員の研修、事業等参加協力

名　　称	日　　　時	参　　加　　者
街頭募金	１０月　１日	理事　　　　　　１６名
各地区運動会	１０月	理事　　　　　　１９名
社会福祉大会	１１月２０日	理事・監事・評議員　４０名
新春お楽しみ会	２月２６日	理事　　　　　　１０名
各地区ちっくい祭り	５回	理事・監事・評議員　各地区
笛吹市社協視察研修	２月１５日	理事　　　　　　１１名
やまなし救援活動フォーラム	３月２３日	理事・監事・評議員　１３名

③会費納入状況

地　　区	実 世 帯（戸） （H23.6.1 現在）	会 員 戸 数	金　　額（円）
八　田	２，７０３	１，７６７	１，７６７，０００
白　根	７，１２５	４，８９１	４，７７５，４００
芦　安	１７７	１６６	１６６，０００
若　草	４，２４６	２，４８６	２，４８２，０００
櫛　形	６，７７５	４，８２３	４，８０１，９００
甲　西	４，５１４	３，１０３	３，０５５，０００
その他		５	５，０００
合　計	２５，５４０	１７，２４１	１７，０５２,３００

④職員研修

研 修 日	内　　容	参加者数
随時 （市町村職員研修）	・管理者の役割 ・トップマネジメント ・職場活性化のためのチーム力アップ ・リーダーの役割と実践 ・接遇の基礎 ・簿記会計 ・センスＵＰコミュニケーション ・メンタルヘルス職員編・管理監督者編 ・納得を生むクレーム対応 ・コミュニケーション術 ・モチベーションアップ ・住民との協働によるまちづくり　など	延べ４０名

⑤内部研修

研 修 日	内　　容	講　師	参加者数
６月２９日	決算報告会	各所属長	５３名
７月１２日	権利擁護研修会	笛吹市社会福祉協議会 支援センターふえふき 社会福祉士　荻原　学氏	４３名
１０月２６日	社協職員防災意識統一研修	地域福祉課 小林　陽一　氏	５１名
１月２７日	フィッシュ哲学研修	㈱ビジネスコンサルタント 赤羽根　浩氏	３７名

⑥福祉バス運行事業

	運行回数（温泉）	乗車人数（温泉）
八田福祉バス	１６９　（　５１）	２，９３５　（５９４）
若草福祉バス	２０２　（　９９）	２，９３３　（７３９）
計	３７１　（１５０）	５，８６８　（１，３３３）

⑦広報活動（会費・共同募金）

・社協だより発行　　年２回　（７月１日・２月１日）全戸配布　２１，０００部
・ボランティア情報手をつなごう　毎月１日発行　　全戸配布　２１，０００部
・ホームページ設置　　ホームページアドレス（http://www.minami-alpsshakyo.or.jp）
・マスコットキャラクター「しゃきょん」公募により作成

⑧福祉大会の開催（会費）

・日時　平成２３年１１月２０日（日）　櫛形生涯学習センター
　　参加者３００名
・内容　表　彰　民間社会福祉施設、団体役職員表彰　７名　　介護功労表彰　１名
　　　　社会福祉活動功労表彰　１名　　金品寄附・労力提供　1 団体・2 名
　　　　福祉標語・ポスター入賞者 20 名　　金婚祝い者申込　３７組
　　講演会　「サザエさん一家は幸せ探しの達人揃い」　　講師　増岡　弘氏

２　指定管理施設の管理・経営

施　設　名	利　用　人　数			
	会議室貸出等	生きがい通所	デイサービス	合　計
白根げんき館	１，２２８	２，７６１	０	３，９８９
若草地区ふれあいセンター 下今井,藤田,鏡中条,十日市場	１，３８０	３，４１７	０	４，７９７
くしがたすこやか八幡館	６，５０７	０	０	６，５０７
櫛形社会福祉会館	１１，２０４	１，８９６		１３，１００
若草健康センター	１６，２７８	０	デイに表示	１６，２７８
甲西保健福祉センター	７，２４９	２，２１９	０	９，４６８

≪事業部門≫

１　地域福祉活動の推進

平成２３年度の特色は、東日本大震災（3.11）を受けて、地域住民の防災に対する意識が高まったため、昨年度まで減る傾向にあった防災出前講座の開催数が大幅に増えたことがあげられます。また、市の危機管理室と合同で実施した避難所開設訓練では、福祉課・みんなのまちづくり推進課・健康増進課・建築住宅課等との連携もできました。この結果、避難所を開設するためにどの部所がどのような役割を担うのかを互いに確認できたことは今後の市の防災を考える上で、おおきな足がかりとなりました。また、要援護者支援カード（あったかカード）の取り扱いについては、市と協議を重ねた結果、カードの保管・データーベース化・自主防災におろしての避難計画作成を依頼するまでを市が担い、社会福祉協議会は市から情報を提供してもらい、地域のバックアップを行うという市との役割分担が明確となり、大きな成果を得ることができました。

介護福祉課委託事業の「生きがい通所支援事業」は、介護プロジェクトの提案をもとに八田地区をモデル地区として介護予防の強化に取り組みました。身体機能の向上などを数値化した結果良好な結果が判明いたしました。平成２４年度は、全地区で本格的に開始をする計画であります。「生きがい通所支援事業」だけでなく、介護予防について介護福祉課と定期的に意見交換の場を設け、トータル的な介護予防について検討を重ねる場づくりができたことも成果のひとつとしてあげられます。

さらに、社会福祉協議会の使命のひとつとして、制度の狭間の支援や新しいサービスの構築、地域住民の組織化があげられます。８月の「地域福祉実践研究セミナー」の開催、３月の「地域ささえ愛セミナー」の開催などを通じて、地域福祉活動の推進に繋がった年度となりました。今後は、「支え合い推進会議」をとおして小地域ネットワークづくり・地域包括ケアの推進等、市と協議を重ねながら、地域福祉の推進を図っていきたいと考えます。

① 職員の質の向上

研　修　日	内　　　容	参加者数
７月２８日・２９日	全社協日常生活自立支援事業専門員研修	１名
８月　２日・　３日	高齢者疑似体験指導者養成研修	２名
８月１９日	地域包括ケア・障害者虐待	４名
９月２６日・２７日	ボランティアコーディネーター研修	２名
１２月２２日	山梨県認知症キャラバンメイト養成講座	２名
２月１２日	地域包括ケアシステム	５名
２月１７日	ファシリテーション研修	４名

②視察研修受入

受け入れ日	研修対象者	研修内容	参加者数
７月１９日	群馬県吉岡町サロン代表者	サロン運営者との意見交換	２５名
１０月２５日	富士吉田市大明見地区	地域住民の防災への取組み	３０名
１１月　５日	小菅村社協	防災への取り組み	２８名
１１月１０日	茨城県東海村民生児童委員	防災への取り組み・民生委員との意見交換	９０名
１月１６日	山梨市社協サロンボランティア	サロン見学・意見交換	２２名
１月２５日	笛吹市社協サロンボランティア	サロン見学・意見交換	２０名
合　計	６　件		２１５名

③外部機関の依頼による講師（職員）派遣

月　　日	内　　　容	依頼元
５月２６日	高齢者疑似体験	百田小学校
６月　４日	ふれあい道徳教育「東日本震災から学ぶ」	芦安小学校
６月　８日	高齢者講座	デイケアももその
６月２４日	防災教育	白根源小学校
６月３０日・７月１日	高齢者疑似体験・車いす体験	豊小学校

７月　５日・11 月８日	社協と地域住民の関わりについて	介護実習普及センター
７月２４日	防災教育	白根源小学校
８月　６日	防災リーダー養成講座	市危機管理室
８月２５～２７日	地域福祉実践研究セミナー	山梨社会福祉協議会 ＮＰＯ地域福祉研究所
９月３日・１２月１０日	ワンストップ相談会	南アルプス市
９月１３日	防災教育	八田小学校
９月１６日	高齢者講座	花菱荘デイサービスセンター
9 月 26 日・29 日・30 日	高齢者疑似体験	小笠原小学校
１０月　７日	防災教育	八田中学校
１０月　７日	車いす体験	白根百田小学校
１０月１４日	防災教育	若草南小学校
１０月２０日	車いす・アイマスク体験	白根東小学校
１０月２５・２７日	車いす・アイマスク体験 高齢者・聴覚障害者疑似体験	甲西中学校
１０月２８日	防災教育	櫛形中学校
１２月１９日	福祉とは(総合学習)	白根東小学校
１月１９日・２６日	市民後見講座	市福祉課
２月　７日・　９日	防災教育	白根東小学校
２月２３日	サポートリーダー養成講座	市介護福祉課
３月１６日	防災教育	若草中学校
３月２４日	地域ささえ愛セミナー	地域ささえ愛セミナー実行委員会
３回	地域包括運営協議会委員	地域包括支援センター
３回	高齢者虐待防止マニュアル作成検討委員会	地域包括支援センター
６回	自立支援協議会仕掛け部会	市福祉課
６回	自立支援協議会運営委員	市福祉課
２回	わかば支援学校交流及び共同学習推進会議	わかば支援学校
５回	ハートふれあい祭り実行委員会	
述べ合計	５３回	

④相談援助実習生受入

学　校　名	受け入れ期間	人　数
山梨県立大学	８月１１日～　９月１２日	２名
山梨県立大学	１０月２４日・３１・１１月　７日・１４日	７６名
身延山大学	１月２３日	１名
健康科学大学	２月２０日～　３月　９日	２名
計	述べ４校	８１名

⑤ふれあい生き生きサロン（会費・共同募金）

サロン助成金対象　５４サロン

研修会の開催　　　５回　１００名

●高齢者サロン

開催箇所数	５２箇所
開催回数	６６７回
参加者延べ人数	１３，５５５名

●子育てサロン

開催箇所数	２箇所
開催回数	３８回
参加者延べ人数	２，０９０名

⑥福祉運動会（補助金・共同募金・会費）

福祉運動会の開催（補助金・共同募金）地　　区	開　催　日	会　　　場	参加者数
芦安地区	９月１８日	芦安小学校校庭	３５０名
白根地区	１０月　５日	すぱーく白根	５００名
八田地区	１０月　８日	すぱーく八田	３５０名
櫛形地区	１０月１４日	櫛形総合体育館	３５０名
若草地区	１０月２１日	若草体育館	４００名
甲西地区	１０月２２日	甲西体育センター	４００名
合　　計			２，３５０名

⑦地区い・ちっくいまつりの開催（会費・共同募金）

地　区	開　催　日	会　場	協力団体	参加者数
八田地区	１０月　８日	すぱーく八田	２０	３５０名
芦安地区	１０月１６日	芦安小学校校庭	１３	３５０名
櫛形地区	１１月１２日	櫛形総合公園･噴水広場	２５	７００名
若草地区	１１月１９日	若草健康センター	２６	３００名
甲西地区	３月　４日	甲西保健福祉センター	２１	５００名
白根地区	２３年度は、２４年度にむけて準備期間にて開催せず。２４年５月１２日開催			

⑧福祉機器等貸し出し事業（会費）

・車椅子車両貸し出し　３５１件
・車椅子貸し出し　　　８０件
・ベッド貸し出し　　　　５件
・高齢者疑似体験セット　５件

⑨ひとり親家庭レクリエーション事業（共同募金・会費）

・８月　５日　バーベキュー交流会（樹園）　参加者４名（大人２・小学生２）

・８月１９日　東京ディズニーランド
参加者１２３名（大人５４・中高生１８・小学生５１・幼児０）

⑩白根福祉大学の開催（補助金）

開催回数　　６回　　参加者　６００名

２　在宅福祉活動の推進

① 社協独自事業

●食事サービス（会費）

毎日型食事サービス対象外の者で必要と認められた者

地　区	利用者実人員	利用回数	備　　考
八　田	400 円　　1	4	・利用者負担金は 　　　１回５００円 ・障害者については 　１回４００円とし 　　社協で１００円助成 ・芦安については利用無し
	500 円　　2	３６８	
白　根	5	６６７	
若　草	400 円　　1	３５	
	500 円　１９	２，８１９	
櫛　形	8	１，０５６	
甲　西	400 円　　1	１２７	
	500 円　　8	１，３７３	
合　計	４５	６，４４９	

●おやつサービス（会費）

80 歳以上のひとり暮らし高齢者等に手づくりおやつを配食し安否確認

実施回数	７１回	延べ利用人数	８，３３２名

●通院サービス（補助金）

おおむね６５歳以上の一人暮らし高齢者等で通院手段のないもの（非課税世帯）

登録者数	３７名	延べ利用人数	６５７名

②介護福祉課委託事業

●生きがい活動支援通所事業（介護保険認定外で虚弱高齢者を対象）

	実施回数	延べ利用数	備　考
八田地区	１４６	１，１４２	３　箇所
白根地区	２４１	２，７６１	１　箇所
芦安地区	４９	４１２	１　箇所
櫛形地区	２４１	１，８９６	１　箇所
若草地区	２８６	３，４１７	３　箇所
甲西地区	２４１	２，２１９	１　箇所
計	１，２０４	１１，８４７	１０　箇所

●食の自立支援事業（おおむね６５歳以上虚弱一人暮らし高齢者）

	述べ利用人数	延べ利用食数	備　　考
計	１，２３０	２２，３６５	365 日毎日型

●芦安通院サービス事業　おおむね６５歳以上で通院手段の無い者

登録者数	３４	延べ利用人数	４５４

●介護者交流事業　在宅で高齢者や障害者を介護している方の交流の機会

開催日	会　場・内　容	参加者数
５月２３・２５日	寄せ植え教室	２６名
７月２９日・８月４日	料理教室	８名
１２月　２日	リフレッシュ・交流会(温泉)	２６名
１月２９日	落語鑑賞会	２１名
２月２１日	先輩介護者との交流会	１６名
計	７回	９７名

●生きがいと健康づくり講座

講座名	回数	延べ参加者数
絵手紙教室（２）	１９回	３５０名
民謡教室	１０回	３１２名
カラオケ教室（２）	２０回	４８９名
フラダンス教室	１０回	２７７名
健康料理教室	１０回	３０２名
麻雀教室	２回	９名
手芸教室	１回	１４名
俳句教室	３回	３０名
携帯電話安全教室	１回	２０名
発表会	１回	２００名
合計　９講座　１１教室	７７回	２，００３名

●軽度生活援助事業

利用者	４４名	延べ利用回数	３，１５３回	延べ派遣時間	３，６７７時間

●白根天笑閣温泉送迎事業

白根地区温泉施設「天笑閣」への送迎

運行回数　７０回　　　述べ利用人数　８７１名

＊４月～６月天笑閣ポンプ故障のために休止

＊２月１５日・１６日は管内リフォームのために休み

③福祉課委託事業

●障害者社会参加事業　障害者への生活の支援により自立生活を促進する。

事業名	開催回数〈利用回数〉	延べ参加者数〈利用人数〉
手話奉仕員養成講座	４０回	７３４名
生活訓練事業	３６回	３８３名
重度障害者移動支援事業	２０６回	２０６名

④県委託事業

●日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

平成２３年度契約件数	７件	精神３　知的２　認知２

平成２３年度終了件数	６件	精神５　認知１
実利用件数 （Ｈ２４．３．３１）	３２件	認知５　知的１２　精神１１ その他４

３　援護対策事業（補助・委託等）

●補助・委託等

生活福祉資金利子補給事業　　　　　　　　　０件
居室整備資金利子補給事業　　　　　　　　　１件
社会福祉金庫貸付事業　　　貸付　　　　　　５件
　　　　　　　　　　　　　償還　　　延べ２３件
生活福祉資金貸付事業　　　　　　　　　　　１件
居室整備資金貸付事業　　　　　　　　　　　０件

●法人後見制度事業　　　　１件受任

４　啓発事業

ボランティアだよりの発行（会費・共同募金）広報活動に含まれる

ボランティアだより「手をつなごう」　毎月発行　　新聞折り込み　２０，７５０部
市内ボランティアボード　３０か所

５　相談事業

①　心配ごと相談　（会費）　開催回数　４５回　相談件数４０件（複数カウント）

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	4	財産	7
年金	1	事故	0
職業・生業	0	母子保健児童福祉	0
住宅	3	教育青少年	0
家族関係	9	障害児・者福祉	0
結婚	0	母子・父子福祉	0
離婚	6	老人福祉	1
健康・衛生	0	苦情	0
医療	0	その他	4
精神衛生	1		
人権・法律	4		

＊山梨県市町村社協相談員研修会　相談員７名参加（１２月２１日）

②結婚相談　（会費）

相談日毎月　１日　（１月を除く）
　９：００～１５：００　　１８：３０～２０：３０
定例会毎月１５日
相談開設回数１１回　　相談件数　３４４件　　　　成婚件数　４件
ふれあいバーベキュー・セミナー　９月１０日　　４２名参加
峡中地区結婚相談員意見交換会　１２月１５日　　２０名参加
峡中地区婚活パーティー・セミナー　３月４日　　６５名参加

③地域福祉相談

相談件数２００件

相談内容	件　数	相談内容	件　　数
年金	０	母子、父子	０
生業	０	教育	１
生計	１	障害福祉	０
家族関係	２	老人福祉	７
精神・保健	０	苦情	０
医療	０	ボランティア	７８
貸付	７４	財産	０
日常生活自立支援事業	２９	その他	６
住宅	２		

６　ボランティア事業（補助金・会費・共同募金）

社協把握ボランティア団体数　　９８団体（平成２４年３月３１日現在）

うち社協が活動費を助成しているボランティア団体　　２２団体

内訳（10,000 円２団体　20,000 円７団体　30,000 円１３団体）

① ボランティア事業

事業名	開催日　回数等	延べ参加者数
夏休みボランティアスクール	３回	９５名
ボランティア団体助成金説明会	３月１４日	１１団体
サロンボランティア研修	５回	１００名
おやつボランティア研修	１２回	２４０名
ボランティア交流会	２月５日	２２４名
ボランティアセンター利用状況	４月～３月	６，６００名
男性ボランティア養成講座	３月 12 日・19 日	１２名
話し合い手ボランティア養成講座	２月 13 日・20 日・27 日	５１名
らい聴の会定例会	毎月１回	１２０名
男性ボランティア定例会	毎月１回	１２０名
男性ボランティア定例会	毎月１回	１２０名
ボランティア相談日の開設	毎週水・午後１時 30 分 から３時 30 分	４３件
ボランティア調整件数		２３０件

② 福祉ポスター及び標語の募集（共同募金）

８月～９月　　標語１，５９６点　ポスター４０３点

特選各１点・入選各３点・佳作各６点　　福祉大会にて表彰

③ 防災ボランティア育成・啓発活動

事業名	開催日	延べ参加者数
被災地義援金募集活動	４月２４日	３６名
災害・防災ボランティア地区連絡会 全体会	５月１３日	３７名

災害・防災ボランティア地区連絡会役員会	１１回	９０名
やなまし災害・防災ネットワーク会議	７月１６日 ２月１９日	６０名
防災ボランティア意識啓発活動	１月１５日	３８名
避難所開設運営講座	１月２０日・２１日	４００名
防災訓練依頼職員派遣（８地区）	８月２１日・２８日	１６名
防災訓練パネル・防災用具貸出	８月２１日・２８日	４地区
外国人防災学習会	９月２５日	５０名
出前講座(学校関係)	９校	１，２９１名
小地域出前講座	３５箇所	１，１０２名
被災地職員派遣(述べ２５日)	４月・５月・６月	３名
被災地ボランティア派遣(４回・延べ５日)	５月・６月・７月・ １０月	１２９名
県内外視察受入　３地区		１４８名

7　各種団体等との連携

① 市老人クラブ連合会事務局

・正副会長会議　１１回　　　理事会　１１回　女性委員会　５回
・市老人クラブ連合会事業
・ゲートボール大会　囲碁大会　講演会　作品展・芸能発表会
・グラウンドゴルフ大会開催
・理事研修

② 山梨県共同募金会南アルプス市支会事務局

●配分金事業

事　　業　　名	事　業　内　容	配分額（円）
地域社会福祉事業	福祉標語、ポスターの募集・ボランティア団体助成	８５０，０００
地域における防災・減災のまちづくり事業	地域への防災・減災の啓発活動など	２００，０００
みんなで地域をよくする事業	小地域ネットワーク事業 (地域の話し合い・出前講座等)	５００，０００
あったかサービス事業	ふれあい生き生きサロン団体支援	９００，０００
ふれあい広場事業	八田地区（ベンチ設置２か所）	６００，０００
市町村社協活動事業	ひとり親家庭レクリエーション 南アルプス市社協だより ボランティアだより発行 地域福祉活動計画策定	３，４００，０００
福祉運動会事業	福祉運動会６地区開催	５５０，０００
地域特別事業	障害者スポーツ大会支援 ちっくいまつり	２５０，０００
歳末たすけあい事業	新春お楽しみ会	３００，０００
計		７，５５０，０００

●歳末たすけあい事業

新春お楽しみ会（在宅障害児者対象）　平成２４年２月２６日（日）
場　所　若草生涯学習センター
参加者　１５０名　　協力ボランティア　９名
内　容　 餅つき・ゲーム・わかば支援学校太鼓・マリナーズ演奏など

●街頭募金活動

１０月３日（月）　社協理事・ボランティア・職員により市内８ヵ所において実施

≪介護保険部門≫

１　居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

居宅支援課では、平成 23 年度においても特定事業所の指定を受け、南アルプス市地域包括支援センターや各介護サービス事業所と密接な連携を図ることにより利用者主体（介護認定者）の質の高い介護計画（ケアプラン）作成に鋭意取り組んでまいりました。

また、職員のさらなる資質向上を目指し人材育成にも力を入れており、山梨県や南アルプス市、山梨県市町村研修所などの主催の研修会にも積極的に職員を派遣してまいりました。

これからも、利用者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活がおくれるようなケアマネジメントの展開をすすめてまいります。

・相談依頼　　　　　５６件（うち新規利用４１件）
・継続相談　　　　１５２件（介護保険請求なし）
・カンファレンス　３７６件

① 介護保険

介護度	年間利用者数 （延べ）	月平均数 小数四捨五入
要介護１	７４９	６２
要介護２	６８６	５７
要介護３	５３５	４５
要介護４	３５１	２９
要介護５	１６８	１４
介護認定結果待ち	２７	２
合　計	２，５１６	２０９

② 介護予防

介護度	年間利用者数 （延べ）	月平均件数
要支援１	５３	４
要支援２	２２７	１９
合　計	２８０	２３

③ 研修会等

名　　　　称	回　　数
県　・南アルプス市主催	３３回
県介護支援専門員協会主催	５回
内部研修・自主研修	５３回
県市町村職員研修	３回
自主研修会	５回
講師・演習助手派遣	１２回

２　通所介護事業（デイサービス）

平成 23 年度は、介護プロジェクトの提案により取り組んでまいりました介護予防の強化、重度利用者の柔軟な受け入れについて両デイサービスとも着実に成果が生まれた年度となりました。利用者、ご家族のニーズに柔軟に応えるサービスの充実は、日々のミーティング、職員会議の中で全職員が情報を共有し意見を交換する中で心を一つにして取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果が、22 年度比延べ利用者 1,213 人の増と、大幅な収益の増につながったと感じています。

今後の動向は、介護保険法改正等により不透明なところはありますが、利用者主体のサービス充実という基本方針を大切に職員一丸となって信頼されるデイサービスの運営に取り組んでまいります。

①　利用状況

事業所名	定員	年間開設日数	１日平均利用者数	延べ利用者数
デイわかくさ	３０	３１１	２０．１	６，２６２
デイゆうかり	３０	３１１	２４．２	７，５１２
合計	６０	６２２	４４．３	１３，７７４

②　介護度別利用者

事業所	要支援１		要支援２		介護１		介護２		介護３		介護４		介護５	
	実	延べ	実	延べ	実	延べ	実	延べ	実	延べ	実	延べ	実	延べ
ﾃﾞｲわかくさ	9	36	41	277	103	966	154	1,244	103	1,497	92	1,344	87	898
ﾃﾞｲゆうかり	52	65	144	171	295	2,188	207	2,008	70	915	69	621	35	482
合計	61	101	185	448	398	3,154	361	3,252	173	2,412	161	1,965	122	1,380

③　年間の主な行事

・お花見会　・保育園児との交流　・夏祭り　・おやつづくり　・紅葉狩り
・クリスマス会　・節分会　・誕生会　・学童との防災訓練

④　ボランティア協力状況

デイ名	定期的なﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数	訪問ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体数	訪問ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ回数
デイわかくさ	延べ５００人	１０	４５
デイゆうかり	―	１３	６９

⑤　研修会

研修名	内　　容	参加者数
市町村職員研修	会議の進め方・クレーム対応　他	８名
介護職員テーマ別研修	ビジネスマナー・レクリエーション技術他	５名
感染症対策講座	レジオネラ感染症について	２名
南アルプス市事業所部会研修	全体研修（権利擁護、災害に備える）通所部会研修会（災害への取り組み、備え）	各４名～８名

⑥　実習受け入れ

山梨県立大　７３名
健康科学大　　２名　　インターンシップ　４名

３　訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

訪問介護課では、高齢者や障害者が住み慣れた地域で、自立し安心して生活できるよう、介護保険・障害者自立支援法・移動支援事業を法に沿って適切なホームヘルプサービスを提供しています。利用者の自立支援にむけたサービス提供を目標に、ヘルパー研修等にも積極的に参加し資質の向上に努めてまいりました。また、介護保険サービスに加え多様なニーズに対応できる介護保険制度外サービスを実施しています。平成２３年１０月からは、移動に制約を抱えた利用者に車両を使っての移動手段や外出の機会を支援する福祉有償運送事業も始めました。

これからも、利用者の生活を支える役割を担い、地域福祉の向上と「介護の応援団」として努力していきたいと思います。

①介護保険事業

サービス提供日数	利用契約者	１日平均利用者数	延べ利用回数
３６５日	１５５人	４６人	１８，６１７回

②　障害者自立支援事業

サービス提供日数	利用契約者	一日平均利用者数	延べ利用回数
３６５日	６７人	３２人	１１，５８８回

③地域生活支援事業（外出支援）

利用契約者数	３０人	延べ派遣回数	１，０１８回

④研修会

研修名	内　　容	参加者数
事業所内部研修会	・認知症支援のネットワークづくり　（10） ・{ 高齢者を狙う悪徳商法とその対処法 介護福祉士の現状について　（42）	５２名
市訪問部会研修会	・冷蔵庫にある食材で手早くできる副食（17） ・介護従事者のための心と体の健康　（18）	５２名

	・全体会　(17)	
県ホームヘルパー研修会	・高齢者を狙う悪徳商法とその対処法　(5) ・認知症　(5)	１０名
全国ホームヘルパー中央研修	１回	３名
専門研修	サービス提供責任者研修会	１名
〃	福祉有償運送運転講習会	２１名
〃	介護福祉士会研修会等	５３名

⑤ 訪問介護実習等の受け入れ　　　３校　　１０名

・北杜高校　２級ヘルパー　　２名
・帝京福祉専門学校　　４名
・山梨県立大学　　２名

４　養護老人ホーム慈恵寮の運営（指定管理）

施設の年間計画を作成し、それに基づいた事業を行ってまいりました。また、入所者の個別支援計画を作成・実践・評価し自立支援の強化へも取り組んでまいりました。特に外出行事や一日レクリエーションに参加できない入所者に対しても、施設内でのお楽しみ会や業者による衣料品販売、地域の保育園児との交流やボランティアの受け入れ、各種クラブ活動の実施、作業訓練等の生活支援に力を入れてまいりました。

一方で、高齢化により身体的・精神的低下がみられ、介護保険サービスを利用せざるをえない入所者が増えてきているのが課題となっています。本来の養護老人ホームの対象者とは異なってきている現状もあります。また、措置制度での運営を行っていますので契約による介護保険施設とは違った性質があることも定員減の要因のひとつとなっています。しかし、24 年度もできるだけコスト削減に努め、地域住民や社協の各課と連携を図り、入所者がいきいきと自分らしく生活ができ、持っている力を充分に引き出せるよう支援しながら施設管理を行っていきます。

①　現況　（平成２４年３月３１日現在）　入所者数　４１名（５０名定員）

・月別入所者数（H23.4～H24.3）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
43 名	43 名	44 名	44 名	44 名	43 名	43 名	43 名	43 名	43 名	42 名	41 名

・職員数　13 名　施設長兼事務長１　係長兼生活相談員１　生活相談員１
　栄養士１　看護師１　支援員 7　相談役１
・学生実習受け入れ　8 名（白根高校　1 名　県立大学　4 名　健康科学大　2 名
　静岡福祉大学　1 名）
・施設職員職場内研修　7 回
・市町村職員研修　5 名参加

② 主な実施行事

月　日	事業内容	月　日	事業内容
5 月 23 日	日帰りレクリエーション 富士山五合目	11 月 21 日 11 月 29 日	避難訓練及び職員防災訓練 お楽しみ給食 歌謡ショー
6 月 15 日	夜間避難訓練		
7 月 28 日	慈恵寮納涼盆踊り大会	12 月 22 日 ～ 2 月	「あなたのきぼう叶えます」 入所者の外出等希望したことに対応
9 月　8 日 13 日、27 日 29 日	買い物レクリエーション オギノリバーシティ	平成 24 年 1 月 14 日	柿平地区どんど焼きへ参加
9 月 24 日	いきいきねんりんピック 手芸品等販売	3 月 28 日	移動動物園 地域の子供たちとの交流
10 月 18 日	交流運動会 中央保育所 柿平いきいきクラブ		誕生会 3 ヶ月毎に実施 12 月は忘年会と誕生会を実施